

# くらし・子育て応援へ市政をさらに改革

福祉・防災のまちづくりに 力を合わせましょう 日本共産党

大震災、原発事故は国をあげての救援と復興が必要。日本共産党は被災地と心一つにと、高槻市では救援募金に取り組み約260万円、全国では4億6千万円をお寄せいただき、1次分を3県と75の自治体に届けました。ありがとうございました。  
くらしといのち、防災のまちづくりに力をあわせましょう。

## 国保、窓口負担軽減を

国民健康保険の医療費の窓口負担を減免する制度は、この2月から倒産などで収入が減少した場合に受けられることになりました。

さらに、低年金など収入が低い人にも適用されるようがんばります。

## 介護保険料引き下げ実現

2年前、日本共産党の主張で値下げが実現。府内の他市と比べ安い金額ですが、せめて利用料の減免が必要です。

## 待機児解消、子育て応援

### 子ども医療費助成中学校卒業まで

病気になったとき、1回500円で病院にかかる制度を中学校卒業まで広げます（現在は小学校入学まで）。

### 保育所4カ所実現、もっと建設を

高槻市の保育所待機児は、昨年10月で260人と府内で5番目の多さ。来年4カ所（今年1カ所）の建設予定ですが、まだ足りません。

## 三島救命救急センターの充実

実現までがんばります

- 中学校給食を市直営で実現
- 子育て支援センターの充実
- 安満遺跡は、遺跡を生かした防災公園に
- 市バス新路線・停留所新設、巡回バス実現を

## 学校・住宅耐震化推進

子どもたちの安全はもちろん、災害のときに避難場所になる学校の耐震化。

日本共産党は、7年前に耐震診断結果を公表させ、これをきっかけに耐震化がすすみ体育館が完了。今年度から7校、来年度12校で校舎の工事が始まります。

住宅の耐震診断補助も9割まで拡充、工事の補助制度もできました。

河川の堤防補強など、安全なまちづくりをさらにすすめます。

## 太陽光発電、間伐材活用

10年前に家庭の太陽光発電への補助制度創設を提案、2007年に実現しました。

間伐材を使ったペレットストーブ、今年3月からは熱量が大きいバイオコークスが製品化。高槻の環境を生かした自然エネルギーの利用を促進します。

## 水道料金再値下げ

## 小学校校門警備員を9月以降も継続

大震災救援・復興支援に全力

## 関西でも事故が心配、福井の原発、定期的総点検を

関西は電力の半分を原子力発電に頼っています。福井県には11基もの関西電力の原発があり、事故が起きれば、大阪への影響や飲み水にも使うびわ湖の汚染も心配です。

美浜原発では7年前、5人の作業員が死亡する大事故が起きています。原発のみから抜けだし、計画的な自然エネルギーの活用拡大が必要です。